

エア一型 取扱説明書

適応機種

A-3 型

A-5 型



この度は、弊社製品をお買い上げいただき誠にありがとうございます。

安全に効率よくお使いいただくために、ご使用前に安全に関する注意事項、ならびに取扱説明書を最後までよくお読みください。

お取扱い上の注意事項、使用方法などを十分にご理解いただき、正しく安全にご使用くださるようお願いいたします。



警告



注意の意味について。



警告

誤った取扱いをした時に、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。



注意

誤った取扱いをした時に、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容、及び物的損害のみの発生が想定される内容のご注意。

※なお、 **注意**に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結びつく可能性があります。いずれも重要な内容を記載しておりますので、必ず守ってください。

取扱注意事項

- 火災、感電、けがなどの事故を未然に防ぐために、次の項目を必ず守ってください。
- ご使用前に、この「取扱注意事項」を全てよくお読みの上、指示に従って正しく使用してください。
- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも本書を見られる所に必ず保管してください。



警告

(1) 次の物は絶対に吸引しないでください。火災、爆発、故障の原因となります。

- ガソリン、シンナー、ベンジン、灯油、塗料などの有機溶剤、及び揮発性、引火性のある物質や薬品。
- アルミニウム、亜鉛、マグネシウム、チタンなどの爆発性粉体、及び爆発の可能性のある粉塵や薬品。
- 高温度の粉体、薬品、液体。(火の粉がある焼却灰、火のついた吸殻、マッチ等)
- 酸性、アルカリ性の粉体、液体、薬品等。
- 粘着性、固着性、流動性のない液体、及び潮解性のある粉体。

(2) 使用エアースourceは、銘板に表示してある空気圧流量で使用してください。

- 表示以外のエアースourceを使用すると事故の原因になります。
- エアースource供給ホースには大変大きな圧力がかかりますので、万一エアースource供給ホースがはずれますと大変危険です。
- 空気圧力、空気流量が不足しますと、吸引効果が低下します。必ず仕様通りのエアースourceを利用してください。

- 使用空気圧は、 5 kg/cm^2 以下。

極端で過大な空気圧力、空気量は、本機の故障及び事故の原因となりますので、減圧弁などを必ず使用し空気圧力、流量を調整してください。

- 供給エアホースを熱・油・角のところがたつところに近づけないでください。また引こ張ったり重い物を乗せたり、挟みこんだりしないでください。破損し事故の原因となります。
- 排気口は塞がないでください。十分な吸引力を得られません。

(3) 本機は屋内用です。決して屋外では使用しないでください。

- 屋外での使用は、雨水などの本体への混入が発生し、故障の原因となります。
- 使用場所は周囲温度 40°C 以下、相対湿度 80% 以下の所としてください。
- 本機は防爆構造ではありません。防爆域での使用は絶対におやめください。また、引火性物質の近くでは絶対に使用しないでください。
- ご使用場所は、水平な場所をお願いします。転倒、振動、故障の原因ともなり思われぬ事故を起こします。
- 移動に関しては、丁寧に静かにしてください。万一吊り上げる時は、慎重に十分な安全対策を行った上で移動してください。
- 静電気対策を十分にしてください。引火、爆発の原因となります。
- 静電気対策として、本体をアースに接続してください。

(4) 作業時の安全対策に注意してください。

- 作業時は保護めがね、防塵マスク、ゴム手袋、安全靴、可動部に巻き込まれない服装で、かつ無理な姿勢で作業しないでください。
- 作業員以外は本機に近づかないように、特にエア供給ホースなどは作業員以外触れないでください。周りの状況など十分に注意し作業してください。
- 子供は絶対に本機に近づけないでください。
- 本機を使用しない場合は、決められた場所にしっかり保管してください。
- エアリッド部が回収タンクにセットされている時以外は、誤作動による損傷、傷害の危険防止のため、エア供給ホースは、必ず外しておいてください。

(5) 本機の修理は専門店に依頼してください。

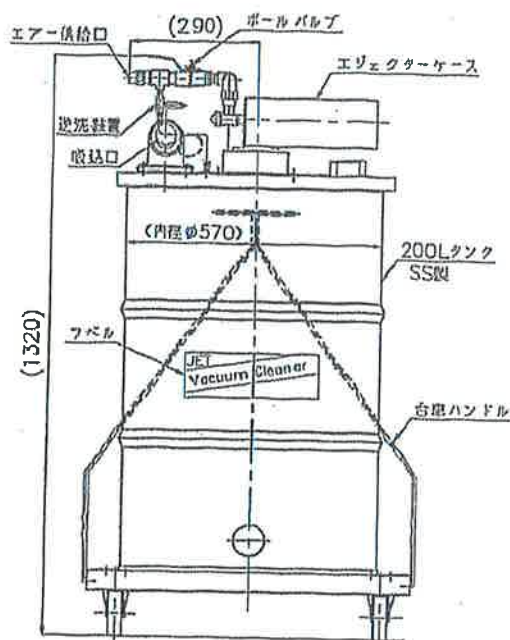
- お客様での勝手な修理や改造は絶対にしないでください。修理やご相談は、必ずお買い求めの販売店、または三立機器株式会社にお申しつけください。
- 本機の使用前、使用後の点検は必ず行ってください。
- 安全に能率よく作業をしていただくために、フィルターやホースなどの付属品は常に手入れし、ご使用の後は必ずフィルターの清掃、付属アタッチメントの清掃はもとより、タンクに溜まった回収物の廃棄清掃は必ず行ってください。
- フィルター、ホース等の付属品の交換や修理は、必ず純正部品を使用してください。

仕様

型式	A-3	A-5
参考最大吸引圧	29.5kPa	36.0kPa
参考風量	4.0 m ³ /min	7.0 m ³ /min
供給エア圧力	5.0kg/cm ²	5.0kg/cm ²
供給エアホース	3/4	3/4X2
供給エア消費量	2500L/min	4500L/min
吸引ホース口径	φ38(φ50)	φ38(φ50,φ75)
タンク容量	200L	200L
重量	20kgリットのみ	25kgリットのみ
寸法	725x725x1360	725x725x1360
フィルター	テトロン	テトロン

注意事項:空気圧が規定通りあっても供給空気量が少ないと上記能力は出ません

各部名称



乾式使用の場合（乾いたゴミ、粉塵などの吸引）

①まず本機をセットアップします。

②エアーリッド部、水フィルター付にテトロンフィルターを、フィルターバンドにて固定します。フィルターバンドの止め方が緩いと隙間より粉塵が漏れてくることがありますので、しっかりと止めてください。

③回収用タンク（200Lドラム缶）に、エアーリッド部をセットします。

④エアー源側のエアーバルブは「閉」となっていることを確認してください。エアーバルブ開閉レバーが「閉」になっているのを確認し、本機仕様のコンプレッサーからエアー供給ホースをエアーホース差込口へ接続します。（確実にしっかりホースバンドなどでエアー供給ホースを締付けて固定してください。）

警告

エアー供給ホースには大変大きな圧力がかかりますので、万一エアー供給ホースが外れますと大変危険です。

空気圧力、空気流量が不足しますと、吸引効果が低下します。必ず仕様通りのエアー源を利用ください。

使用空気圧は、4.1～7.0kg/cm²、極端で過大な空気圧力、空気量は、本機の故障及び事故の原因となりますので、減圧弁などを必ず使用ください。

⑤ここまで準備ができれば、エアー源コンプレッサーのバルブを「開」にして、エアーバルブ開閉レバーを「開」にし、正常に吸引しているかを吸引口に手をあてて確認してください。

⑥吸引ホースの金具側を吸込口に差込み、吸引口の吸引ホース固定ノブボルトを締め固定します。吸引ホースの先には、作業に必要なものをセットしてください。これで作業開始です。

⑦吸引作業が終わりましたら、本体のエアーバルブ開閉レバーを「閉」に、かつエアー源コンプレッサーのバルブを「閉」にしてエアー供給ホースを取り外します。吸込口の吸引ホース固定ノブボルトを緩め、吸引ホースを吸引口～はずします。

注意

- エアー供給ホースの取り外しの時、ホース内に余剰の空気が残っている場合がありますので十分注意してください。防塵メガネをしてください。
- ⑧ 回収物の廃棄の為エアーリッド部の把手を持ち取り外します。
- ⑨ 回収タンクの回収物を廃棄します。完全に排出してください。次の作業準備のためでもあります。再度作業を開始するには、①からの手順を繰り返します。

注意

- エアーリッド部の排気は絶対に塞がないでください。
- フィルターが粉塵などにより目詰まりを起こした場合、吸引力が低下します。この時は必ずフィルター表面の清掃をしてください。フィルター内側に粉塵等が通過し始めたり、目詰まりが頻繁になりましたら新しいフィルターと交換してください。交換は必ず弊社純正部品を使用してください。
- 回収物がタンク一杯になりますと、フィルターの空気の流れがなくなり、目詰まりした状態となります。この場合は速やかに本体の使用を中止し、回収物を廃棄してください。このまま作業を続けると閉塞状態となり、故障の原因となります。
- タンク一杯には吸引せず、一度の作業毎に回収物の廃棄をしてください。
- 本体セットアップ時の取扱いは、注意深く丁寧に行ってください。強い衝撃を与えますと、本体の変形による吸引力の低下や、フィルター破損を起こし故障や事故の原因となります。
- 使用前・使用後の点検整備は必ず実施してください。
フィルターの清掃は水洗いもできますが、必ず乾燥してから使用してください。簡単な清掃にはブラシを利用してください。(金属ブラシは絶対に使用しないでください。)
- フィルターをセットしたままでの油や液体の吸引は、絶対におやめください。
- 取扱注意事項は遵守してください。

湿式使用の場合（液体及び濡れた物の吸引）

- ①まず本機をセットアップします。
- ②エアーリッド部、水フィルター付を、回収用タンク（200Lドラム缶）に、エアーリッド部をセットします。
- ③エアー源側のエアーバルブは「閉」となっていることを確認してください。
エアーバルブ開閉レバーが「閉」になっているのを確認し、本機仕様のコンプレッサーからエアー供給ホースをエアーホース差込口へ接続します。
（確実にしっかりホースバンドなどでエアー供給ホースを締付けて固定してください。）

警告

エアー供給ホースには大変大きな圧力がかかりますので、万一エアー供給ホースが外れますと大変危険です。

空気圧力、空気流量が不足しますと、吸引効果が低下します。必ず仕様通りのエアー源を利用ください。

使用空気圧は、4.1～7.0kg/cm²、極端で過大な空気圧力、空気量は、本機の故障及び事故の原因となりますので、減圧弁などを必ず使用ください。

- ④ここまで準備ができれば、エアー源コンプレッサーのバルブを「開」にして、エアーバルブ開閉レバーを「開」にし、正常に吸引しているかを吸引口に手をあてて確認してください。
- ⑤吸引ホースの金具側を吸込口に差込み、吸引口の吸引ホース固定ノブボルトを締め固定します。吸引ホースの先には、作業に必要なものをセットしてください。これで作業開始です。
- ⑥吸引作業が終わりましたら、本体のエアーバルブ開閉レバーを「閉」に、かつエアー源コンプレッサーのバルブを「閉」にしてエアー供給ホースを取り外します。吸込口の吸引ホース固定ノブボルトを緩め、吸引ホースを吸引口～はずします。

注意

- エアー供給ホースの取り外しの時、ホース内に余剰の空気が残っている場合がありますので十分注意してください。防塵メガネをしてください。
- ⑦ 回収物の廃棄の為エアースリッド部の把手を持ち取り外します。
- ⑧ 回収タンクの回収物を廃棄します。完全に排出してください。次の作業準備のためでもあります。再度作業を開始するには、①からの手順を繰り返します。

注意

- エアースリッド部の排気は絶対に塞がないでください。
- 油混じりの金属切粉を連続して吸引しますと吸引力が低下します。この時は、必ず水フィルター表面の清掃をしてください。万一排気から吸引した液体等が漏れたりした場合は直ちに使用を中止し、水フィルターを点検整備してください。この状態で作業を続けると、故障及び事故の原因となります。交換は必ず弊社純正部品を使用してください。
- 回収物がタンク一杯になりますと、フロートの働きで吸引ができなくなります。直ちに、本体は運転してままとします。この場合は速やかに本体の使用を中止し、回収物を廃棄してください。このまま作業を続けると閉塞状態となり、故障の原因となります。
- タンク一杯には吸引せず、一度の作業毎に回収物の廃棄をしてください。
- 本体セットアップ時の取扱いは、注意深く丁寧にしてください。強い衝撃を与えますと、本体の変形による吸引力の低下や、フィルター破損を起こし故障や事故の原因となります。
- 使用前・使用後の点検整備は必ず実施してください。
- 水フィルターの清掃は、水洗いもできますが、必ず乾燥してから使用してください。
- 水フィルターだけではゴミやほこり、粉塵等の乾式吸引は、絶対におやめください。乾式吸引の時は必ずフィルターを取り付けしてください。
- 取扱注意事項は遵守してください。

6. アフターサービスについて



警告

●使用中に異常が生じた時は、修理を依頼される前にこの取扱説明書をよくお読みの上、下表の項目を点検していただき、それでも不具合な場合は、ご自分で修理なさらないで、お問い合わせの販売店、三立機器株式会社にご相談ください。

こんな時は	原因	対策
吸引しない	エアーが供給されていない	本体、供給側エアーバルブ開閉確認
	フィルターが目詰まりしている	フィルター清掃・交換
	閉塞状態	フィルター・ホース詰まり、回収物廃棄
吸引力が弱い	フィルターの目詰まり	フィルター清掃・交換
	エアーリッドがずれたなどの気密不良	リッドの再セット
	リッドパッキンの不良	リッドパッキン交換
	面板の変形、ゆがみ	変形・ゆがみの調整、部品交換
	タンクの変形、またはゆがみ	変形・ゆがみの調整、タンク交換
	タンクに穴が空いている	タンク交換
	供給エアーの圧力、流量不足	仕掛通りのエアーの圧力、流量必要
	ホース内、パイプ内に物が詰まった	点検除去
排気から粉塵が吹き出る	フィルターがついていない	フィルター取り付け
	フィルターに穴が空いている、破損	フィルター交換
	フィルター選定の誤り	フィルター交換
排気から水、油が吹き出る	水フィルター、フロートの動作不良	点検清掃、交換
	水フィルター不良	交換

保証書

この度は、弊社製品をお買い上げいただき、ありがとうございました。

本製品に関して、製造上の不具合など、弊社が認めた場合に限り、本保証書に示す条件に従って、当該部品を修理することとします。

①保証の範囲

○ご購入後1年間とします。

○通常のご使用状態において、製造上の不具合などによる故障などが発生した場合、無償にて修理いたします。

②保証の対象外項目

次の各項目については、保証の対象外といたします。

○地震、台風、水害などの天災及び事故。

○弊社取扱説明書などに示すご使用法、ならびに製品の仕様の限度を超えるご使用。

○本機の運転、停止、故障などによるお客様での製品製造工程への影響、またその損害の一切に関するもの

○お客様による製品の改造、改良などに起因するもの。

○純正部品以外の製品への装着、ご使用に起因するもの。

○故意、過失など取り扱い上の不注意に起因するもの。

○弊社の承認なしに製品の機能に関する改造。

○保守、整備の不備または誤り。

○弊社指定サービス工場以外での修理に起因するもの。

○使用頻度を越えた消耗、及び経時変化によるもの。

○お客様に守っていただく事項を守らなかった場合。

○自然消耗した部品。(アタッチメント関係、フィルター、モーター、カーボンブラシなど)

○本機の修理点検については、弊社作業員の健康障害となる危険物の吸引や弊社規定による放射線量が一定基準を越える場合等、お断りすることがありますのでご了承ください。

③お客様に守っていただく事項

商品を快適かつ安全にご使用いただくためには、次のことを必ずお守りください。

○取扱説明書などに示す正しいご使用。

○ご使用前の点検整備の実施。

④保証修理のご請求ならびに保証の発効

保証による修理などにつきましては、お買い上げの販売店、及び弊社営業所にご連絡ください。保証の発効は、お買い上げの販売店の記入捺印後有効となります。

三立機器株式会社

お買い上げ日 年 月 日

ご購入販売店名



工業用掃除機のブランドを目指す

三立機器株式会社

本社 〒335-0026 埼玉県戸田市新曽南3-1-23
大阪支店 〒592-0003 大阪市淀川区宮原5-1-3(NLC新大阪アースビル)
名古屋営業所 〒467-0067 名古屋市瑞穂区石田町1-13-3(カンテ・イシダ)
福岡営業所 〒812-0014 福岡市博多区比恵町11-7(ニューいわきビル)
広島営業所 〒730-0842 広島市中区舟入中町7-7(新光ビル)
北日本営業所 〒984-0042 仙台市若林区中倉3-12-10

Tel.048-430-3456 (代) Fax.048-430-3639
Tel.06-6396-1661 (代) Fax.06-6396-5411
Tel.052-851-4530 (代) Fax.052-851-7606
Tel.092-473-0250 (代) Fax.092-473-1127
Tel.082-292-4139 (代) Fax.082-292-1463
Tel.022-236-6668 (代) Fax.022-782-0604